

橋梁保全アドバイザーの設置について

静岡国道事務所管理第二課において、「専門官」ポストの新設に伴い、専門官に「橋梁保全アドバイザー」としての役割を持たせます。

○ 橋梁保全アドバイザー

飯田 明 弘 専門官

○ 橋梁保全アドバイザーの役割

静岡県の自治体からの橋梁に関する各種要請により以下項目を実施します。

- ・ 橋梁に損傷が発見された場合、自治体の要請に応じて現地診断を行い、必要な助言を行います。
- ・ 橋梁点検手法や橋梁長寿命化修繕計画・設計に関する助言を行います。
- ・ 中部地方整備局が所有する橋梁点検車の自治体への貸し出し調整を行います。
- ・ 橋梁の管理に関わる勉強会および実地研修会を開催し、橋梁管理者の技術力向上を図ります。
- ・ 中部地方整備局道路保全企画室との連絡窓口となり、自治体からの要請に応えます。

○ 橋梁の保全

我が国の道路橋梁は、昭和30年代からの高度経済成長期に建設橋数が増え、今後、それらの橋梁は続々と建設後50年を経過し、既存の橋梁の多くが高年齢化していきます。このような状況の中、高年齢化した橋梁を中心に重大な損傷が見つかる頻度が多くなっています。橋梁を管理する上で、重大な損傷が見つかった場合の対応や、それに至る前に損傷を発見する点検技術および効果的な橋梁補修計画・長寿命化修繕計画の策定が重要な課題となっています。



国道1号蒲原高架橋（建設後40年経過：静岡市清水区蒲原）の損傷状況

○ 橋梁点検車

中部地方整備局では、河川橋などで足場を設置しないと橋梁に近接した点検が困難な場合に、「橋梁点検車」を用いての点検を実施しています。橋梁点検車は自治体からの貸し出し要請があった場合に、空き状況を確認し、貸し出しを行っています。



橋梁点検車

○ 橋梁の管理に関わる勉強会

平成20年より、橋梁管理者である国土交通省と静岡県内自治体の職員を対象とし、橋梁の保全技術に関する講習会や実地研修を静岡国道事務所主催で開催しています。平成22年も同様に勉強会を実施し自治体の支援を行っていきます。